

国立京都国際会館 アジアの国際会議場・展示場で初、GBAC STAR™認証を取得 ～感染症予防対策において国際的な衛生基準を満たす施設として公認～

新型コロナウイルスを契機に衛生管理の重要性が高まるなか、国立京都国際会館（所在地：京都府京都市左京区宝ヶ池）は、利用者が安全に当館をご利用いただけるよう、当館の洗浄、消毒および感染症予防対策が国際的な衛生基準を満たした施設であることを証明する GBAC STAR Facility Accreditation (以下 GBAC STAR™認証)をアジアの MICE 施設*で初めて取得しました。

昨年12月より観光庁の『MICE施設の認証制度に関する調査等業務』の支援を受け、まず2名の職員が英語でのオンラインセミナーの受講とテストを経て、Global Biorisk Advisory Council (以下 GBAC) /TRAINED TECHNICIANの資格を取得しました。続いて洗浄、消毒、感染症予防に関する施設内の各部門及び従業員が担っている役割と責任について審査を受け、GBACの定めた国際水準の感染症予防対策に関する認定を取得しました。

尚、海外ではラスベガスコンベンションセンターを始めとし、これまで多くの北米の MICE 施設が GBAC STAR™認証を取得しており、国内でも昨年の秋以降、宿泊施設で取得がはじまっています。

GBAC STAR™認証の取得により、当館では国際会議や催事をこれまで以上に安心・安全な環境でご開催いただける施設として、以下の方針に基づき、MICEの誘致推進や開催支援を進めて参ります。

1. コロナ禍において、北米や欧州において国際的な衛生基準の認証取得を進めるコンベンションセンターが多い中、日本国内の MICE 施設に先駆けて GBAC STAR™認証を取得したことで、MICE 市場における日本・京都の優位性を高めていく。
2. 清掃・衛生管理の見える化を進めることで、利用者に安心・安全な会議環境を提供し、MICE の新たな開催様式におけるサービスを提供していく。
3. 単なる清掃作業の実施に留まらない、衛生管理の観点でのプロトコルの確立や職員研修の実施により、担当部門を超えた全スタッフの意識を向上させていく。

GBAC STAR™認証

世界的な洗浄業界団体である International Sanitary Supply Association (ISSA)の一部門として、洗浄、消毒、感染症予防のプロトコルの運営基準を提唱している GBAC による国際的認証プログラムです。

MICE 施設*

見本市や会議を行うことを主要な事業とする複合施設で、日本では会議場と呼ばれることが多い。

MICE (マイス) とは、Meeting (会議・セミナー)、Incentive (報奨・研修旅行)、Conference または Convention (国際会議、学術会議、総会)、Exhibition (展示会・見本市) または Event の 4 つの頭文字を合わせた言葉で、「ビジネスイベント」とも呼ばれている。

この件に関するお問合せについて

GBAC プロジェクトチーム： 関、岩橋 075-705-1229 (営業推進部代表 TEL)

～国立京都国際会館からのお知らせ～

2021 年 4 月 営業推進部内に広報課が新設されました。

報道対応のみならず、あらゆるステークホルダーを対象とした広報活動を行い、マーケティング活動による「顧客ニーズの把握」や「ブランド戦略の推進」などにも取り組んで参ります。

広報課メンバー： 岩橋、森下、小野田
075-705-1229
ask@icckyo.or.jp